

公益社団法人長岡法人会会長賞

私が住む日本

長岡市立関原中学校

三年 藤島 結愛

私には日本から約八〇〇キロも離れたカナダに住むいとこがいて、今年で四歳になります。まだ幼いので、怪我や事故に遭わないか心配です。日本では怪我で病院を受診した際、医療費の約七割を税金が負担してくれ、小学校入学前なら八割を負担してくれます。また、子供は病院で処方されるお薬が無料であったりなど、とても安心です。医療に関してだけでも日本は税金により様々な負担が軽減されている印象を受けます。けれど、カナダではどうなのでしょう。カナダの隣の国のアメリカでは救急車を呼ぶのにお金がかかったり、医療費が高いと聞きます。心配になりいとこのお母さんにメールで聞いてみました。その情報によると、なんとカナダではすべての患者の医療費が税金のおかげで無料であるとは分かり安心しました。他にもカナダの税金についてたくさんのお話を教えてもらいとても勉強になったのと同時に、日本とこんなにも違うのかと驚き、日本とカナダの税金の違いを調べてみました。

調べたことの一つ目は、カナダの税金は何パーセントなのかということ。カナダでは、州・売上税といい、州によって額が一〇パーセントのところもあれば〇パーセントの

ところもあり、それにプラスして連邦消費税というカナダ全土一律でかかる税金や、この二つを一体化し統一売上税としたものがあることが分かりました。最大で一五パーセントの税金がかかる州があり、住む場所によって大きく異なることに驚きました。

二つ目は、医療費以外にも税率が〇パーセントのものがあのかということ。いとこのお母さんから教えてもらったのは医療費だけでしたが、調べていくとパンや牛乳、野菜や穀物も〇パーセントであり、さらに中古住宅や教育サービス、金融サービスやヘルスケアサービスは非課税であることが分かりました。他にもいろんな違いが分かり、思ったことがあります。カナダの税金は医療費や食料などが税率〇パーセントなので、形を変えて国民に戻ってきていると感じました。それに対し日本では、道路や街並みなどの公共スペースや施設に税金が充てられ、私達の生活する環境という形になっていると感じます。

調べる中で、生活必需品に税がかからないカナダの方が日本より良いのではないかと思っていました。しかし、私達が当たり前のように歩いている道路や、安全に使える水道水、綺麗なトイレはすべて日本の税金の使われ方のおかげなのだと感じました。

私は、税金について詳しく調べたことで税金にはどんな役割があるのかを深く理解することができ、自分の身近なところで税金が使われていたことを知ることができました。まだ働くことができないので消費税を納めることができなけれど、将来、ちゃんと社会に貢献することができるよう、今の自分にできることをしていきたいです。